

2024年度 授業計画（シラバス） 日本コンピュータ専門学校

学科名	学年	授業のタイトル（科目名）	
工業専門課程 デジタルクリエイター科	1	色彩構成	
授業の種類	授業担当者	実務経験	
講義と演習	新沢 靖雄	有	
[実務経験歴]			
<p>少年マガジン、ヤングマガジンで佳作等受賞。 週刊少年サンデー（小学館）、マガジンFRESH（講談社）に作品掲載、通算掲載数5本。 企業広告イラスト、企業広告漫画（ウェブ、紙媒体）多数。</p>			
単位数（授業の回数）	時間数☒	配当時期	必修・選択
2 単位 （ 30 回 ）	60 時間	後期	選択
[授業の目的・ねらい]			
<p>色彩における基本知識を学ぶ。 ウェブ画面やイラストにおける配色の基礎知識を学ぶ。 個々人が志向する配色の、個性や意味を確認する。 色を使った様々な試みを体験する。</p>			
[授業全体の内容の概要]			
<p>色彩・配色における基礎知識のレクチャー。 色彩画材を使った作品制作、及び確認。</p>			
[授業終了時の達成課題(到達目標)]			
商業作品の基本的な色彩感覚を身につける。			
[準備学習の具体的な内容]			
<p>授業ごとに前回の作品を批評し、皆で確認する。 課題作成中に個別指導を行う。</p>			
[使用テキスト]		[単位認定の方法及び評価の基準]	
使用テキスト		定期試験と出席日数の両方が次の規定に達した場合に認定する。	
無し		・試験の点数は60点以上を合格点とする。	
参考文献		・全出席日数の4分の3以上の出席が必要。	
必要に応じて授業の中で紹介する。		評価基準	
		定期試験80%、平常点（出席、講義の参加度）20%とする。	
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]			
1回	作品における色使いについて（オリエンテーション）		
2回	RGBとCMYK、色相環、補色		
3回	文化の違いと配色		
4回	配色技法01		
5回	配色技法02		

6回	配色によって起きる視覚効果
7回	無彩色と有彩色
8回	色面積のバランス
9回	色と構成
10回	色彩調和論
11回	写真と色
12回	3色でまとめる
13回	白でまとめる 黒で引き締める
14回	季節感
15回	配色・書体・レイアウト
16回	アクセントカラーで強調する
17回	1つの色相でまとめる
18回	グラデーションでまとめる
19回	2色間に1色を挟み込んでまとめる
20回	トーンでまとめる
21回	カマイユとフォカマイユ
22回	キュート・ロマンチック
23回	ナチュラル・カジュアル
24回	シャープ・スタイリッシュ
25回	フレッシュ・清潔感
26回	アクティブ・ダイナミック
27回	クラシック
28回	シンプルと抜け感
29回	配色の新しい傾向
30回	まとめと振り返り

<お願い事項>

←学科名は、セルを選択すると右にセレクトが出ます。学科を選択してください。

←授業の種類は、講義：教科書を使って講義中心の場合、実習：主に実習に場合、演習：主に論文や作文などの場合、両

←実務経験は、企業に所属やフリーランス等で実際の業務に携わった内容を簡単に書いてください。

←企業名などの情報を書く必要はありません。

←企業等に所属せず、フリーランスや請負、プロとしての実績なども実務経験歴になります。

←配当時期は、1単位は：「前期」または「後期」、2単位以降は、「通年」になります。

←必修・選択は、不明な場合は選択されなくてもかまいません。

←授業の目的・ねらいは、この授業でどのようなことを理解させ習得させるかの目標・ねらいを書いてください。

←授業全体の内容の概要は、本の章立てのことで、学習するおおまかな内容を書いてください。

←授業終了時の達成課題(到達目標)は、授業終了時まで習得させる学習目標を書いてください。

←準備学習とは、予習、復習、課題、宿題等の授業時間外の自学自習を指します。

←使用テキストは、セルを選択すると右にセレクトが出ます。教科書または、教材を選択してください。教科書を使われ

←単位認定の方法及び評価の基準は、評価基準が異なる場合は、変更してください。

←参考文献は、特に変更する必要はありません。

←90分を1回（1コマ）として記入してください。

← 第一回定期試験とは書かないでください。

← 第二回定期試験とは書かないでください。

方半々ぐらいの場合は、2 たつにチェックしてください。

ない先生は、プリント教材または、ホームページ、PDF教材を選んでください

